

【令和7年度分 様式3】

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 65 ） 学校名 豊田市立萩野小学校

- 1 テーマ ふるさとを愛し、未来を拓く、萩野っ子の育成
—地域や萩野の自然を効果的に活用した体験活動を通して—
- 2 ねらい
 - (1) 地域や自然との関わりを重視し、ふるさとを愛する子どもを育てる。
 - (2) 地域共働本部と連携をし、地域活性化につながる活動を行う。
 - (3) 令和7年度で萩野小学校は創立154周年を迎え、学校と地域との交流を深めた行事を充実させ、愛校心を育む。
- 3 活動内容
 - ・地域共働本部と連携をし、醤油作り（講師招聘）、米作り体験（地域講師）など地域活性化につながる活動をした。
 - ・マラソン大会、三角山登山、スポーツフェスティバル（運動会から名称を変更）、川に学ぶ会などの学校行事を実施する際に地区民にも参加を呼びかけ、多くの参加者とともに活動をした。
 - ・地域共働本部と子ども会との共催のイベント（8月：流し素麺）を保護者、地域住民と児童で行い、親交を深めた。
 - ・総合的な学習の時間の授業において地域講師を招き、子どもたちと交流をした。
- 4 成果と課題
 - (1) 成果
 - ・醤油作りと米作りでは年間を通して興味をもって取り組むことができた。また、米作りも同様に地域コーディネーターの紹介で水田を借りることができ、全校で田植えや稲刈りを行うことができた。
 - ・豊田市出身の絵本作家阿部夏丸氏を招いた川に学ぶ会では、児童のみならず、参加した地域住民にも好評で、改めて地域の自然の良さを知ることとなった。
 - ・創立150周年を機に、校内の行事を地域住民参加型に変更したことにより、住民と児童（保護者）との親交を深めることができた。
 - (2) 課題
 - ・今後も地域住民参加型の行事は、共働本部と連携をし、積極的に地域住民も企画運営に携われるようにしていきたい。
 - (3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果
 - ・司書は、従来の業務に加え、図書ボランティアとの連絡調整も担当し、教員の負担軽減につながった。
 - ・職員や児童数（保護者数）の減少により、清掃活動の規模が年々小さくなっている中、校内整備員が定期的に運動場の整備等の活動をしてくれたため、現在の環境を維持することができている。
- 5 保護者・地域への情報発信の取組実績
 - ・ホームページを毎月更新し、定期的に各学年の取組を紹介した。また、学校だよりでも紹介した。
 - ・学習発表会で、保護者や地域の方にも参観していただき、特色ある学校づくり推進事業の取組に関する発表を行った。（2月）